

事業計画

中期計画



北陸ろうきんでは、2017年度から2019年度までの3カ年を「第6期中期計画」と位置付け、お客さまに安心いただける金融サービスの持続的なご提供をめざし、主要政策課題に積極的に取り組んでいます。

第6期中期計画の骨子

お客様の期待に応えるために〈ろうきん〉は次のステージへ歩み続けます！
～お客様との信頼関係を強め、働く人々が安心してご利用いただける事業運営に努めます～

I. 会員・推進機構等との連携と協働による、ろうきん運動の前進

会員・推進機構や労働者福祉事業団体との連携を強化し、地域勤労者や高齢者等の利用拡大を通じて労働者自主福祉活動の充実を図り、ろうきん運動の前進を目指します。

- ・会員・推進機構との連携強化
- ・取引基盤の拡大
- ・労働者福祉事業団体等との連携強化
- ・ろうきん運動の継承

II. 安心してご利用いただける商品・サービスの提供

多様化するお客様ニーズに対して、良質な商品・サービスを提供していくことが求められています。他の金融機関にはない「ろうきんにしか出来ないこと」「ろうきんらしいサービス」を提供します。

- ・勤労者への生活応援運動の継続と強化
- ・資産形成支援の取り組み
- ・勤労者等に対応する商品・サービスの開発
- ・お客様の利便性向上に向けたインフラ整備

III. お客様の期待に応える「人材」育成

お客様の更なる期待に応えるには、提案力、対応力の高い職員＝「人材」の育成が必要です。そのためには、職員一人ひとりが「金融のプロ」としての高い知識を持ち、よりよい提案を行っていきます。

- ・「人材」育成の強化
- ・営業力の強化
- ・事務の堅確化

IV. 安定した経営基盤の構築

収益力の増強やコスト削減また店舗のあり方等の見直しを通じて、安定した経営基盤を構築します。

- ・利用の拡大と収益力の強化
- ・事務の効率化・集中化
- ・店舗のあり方等の見直し
- ・内部管理態勢の強化

2019年度事業計画の主要課題

第6期中期計画（2017年度～2019年度）の最終年度にあたる、2019年度事業計画では、以下の重点施策に取り組みます。

- ①労働者福祉の向上を図るため、会員・推進機構との連携を強化し、「暮らしステップアップ運動」における「可処分所得向上」を柱とした取り組みを展開します。
- ②「暮らしを守るキャンペーン」を継続するとともに、お客さまの金融ニーズに合った商品の提供を行い、計数計画を達成します。
- ③お客さまの資産形成に応えるため、財形貯蓄やエース預金の利用拡大を図るとともに、人生100年時代を見据えた現役時代からの資産形成や資産運用などの提案を強化し、生涯取引の推進を図ります。
- ④少子高齢化による生産人口減少に伴う、金融市場の動向を見極めた店舗政策を進めます。
- ⑤「経費削減プロジェクトチーム」を中心に、抜本的な経費削減に向けた取り組みを進めます。
- ⑥お客さまの期待に応える「人材」育成のため、教育研修の充実や実践的な営業研修を実施し、営業力の強化を図ります。
- ⑦安定した経営基盤の構築のため、RAS（リスクアパタイト・ステートメント）に基づき、RAF（リスクアパタイト・フレームワーク）の構築を図るとともに、「北陸労働金庫改革会議」を継続し、収益力の強化に向けたPDCAを実践します。

2019年度計数計画

● 預金・貸出金計画

預金	残高増加目標額	90億円
貸出金	残高増加目標額	70億2百万円
	新規実行目標額	550億円 有担保330億円 無担保220億円

※上記計画の結果、預金・貸出金の残高は以下のとおりとなります。

(単位：百万円)

	期首残高	期末残高	期中増加額	期中増加率
預金	758,948	767,948	9,000	1.185%
貸出金	414,537	421,539	7,002	1.689%

● 収支計画

(単位：百万円)

支出の部		収入の部	
経常費用	8,350	経常収益	9,152
特別損失	253	特別利益	92
法人税等	290		
当期純利益	350		
合計	9,244	合計	9,244

2019年度事業計画におけるリスクアペタイト

当金庫では、2019年度事業計画の実施にあたり、これまでの収益・リスク等の計画・管理の手法を見直し、「リスクアペタイト・フレームワーク (RAF)」を導入しました。

① リスクアペタイト・フレームワーク (RAF) 導入の目的

「リスクアペタイト・フレームワーク (RAF)」とは、会員の皆さまの信頼に応える健全経営の実現 (ろうきん理念の実現) のため、適正なリスクアペタイトによる必要な収益の確保をめざす取り組みです。

また、その取り組みを明文化したものを「リスクアペタイト・ステートメント (RAS)」といいます。

② 2019年度事業計画におけるリスクアペタイト・ステートメント (RAS)

当金庫は、会員の皆さまの信頼に応える健全経営の実現 (ろうきん理念の実現) のため、適正なリスクアペタイトによる必要な収益の確保を目的とします。

(1) リスクアペタイト方針

事業計画達成のために進んで受け入れるべきリスクアペタイトの種類・量は、金融政策・圏内の市況を踏まえ、より多くの収益機会を追求 (リスク・リターンの向上)、リスクをコントロールした経営 (想定外損失回避) を意識して決定、管理を行います。

(2) リスクアペタイト指標

2019年度事業計画で策定した当期純利益を「重要目標達成指標 (KGI)」とし、目標達成のためのモニタリング指標を「重要業績評価指標 (KPI)」として設定します。同時に目標達成のために必要なリスクアペタイト (リスクの種類と水準) を適正に設定します。

重要目標達成指標 (KGI)

KGI 項目	2018年度	2019年度
当期純利益	584百万円	350百万円

重要業績評価指標 (KPI)

KPI 項目	2018年度	2019年度
預金純増額	8,628百万円	9,000百万円
貸出純増額	13,460百万円	7,002百万円
貸出金利回り	1.58%	1.52%
余裕金利回り	0.44%	0.43%
資金調達原価率	0.93%	0.90%
総資金利鞘	0.15%	0.16%
預貸率	54.61%	54.89%